

ESC 情報

WE ARE CHALLENGERS !

発行所：北海道電気技術サービス株式会社

〒069-0832 北海道江別市西野幌 120 番地 8

TEL 011-384-8888 FAX 011-384-8889

MAIL hesc@hesc.co.jp

編集：営業部



トランプ関税に思う事

代表取締役 向井 潔

ようやく暑かった夏も過ぎ、過ごしやすい気候となつてまいりました。経済においてはトランプ関税の税率がようやく15%に訂正され、米国向けの輸出の多い企業においては関税率の見直しにより、(それでも十分高い税率ではありますが)ひとまず安堵したのではないのでしょうか。また、FRBによる米国内の政策金利が0.25%引き下げられることにより、日米金利差が縮小し、円高方向に触れるのではないかという話もあります。そうすると為替差益を得ていた企業においては差益が減ることを意味し、価格に転嫁しきれない関税分と合わせるとこれまで以上に体力を削られるのではないかと思います。

弊社においては直接米国と取引することはないですが、諸外国から米国を経由して流通する半製品、完成品などは米国関税政策の影響で値が上がつていく可能性があります。

為替が円高方向に振れることにより、輸入材の相対的な価格低下は期待できる可能性はありますが、これまで価格上昇してきた各部材の価格低下にはすぐには反映されないでしょう。米国や諸外国の動向、国内経済の動きを見つつ、お客様の希望納期に添えるよう、部材調達を取り組みを進めてまいります。長納期品は減りつつあるものの、コロナ前の状況に戻っていない部材も多く存在しています。

我々も部材を早期発注しお客様の希望納期に沿うよう努力して参りますので、お客様各位におかれましてもこれまで同様早めの注文をしていただけますようお願い致します。

仕事について考える

相談役 向井 隆

世の中には実にさまざまな仕事があり、それぞれが社会を支える重要な役割を担っています。多様な仕事が連携し、機能することで、私たちは安心して快適な暮らしを実現できているのです。

私たちの仕事は、その中でも「電気」に関わる技術職であり、主に製造や保守を通じて社会を支えています。電気は家庭や工場、病院、インフラなどあらゆる場所で使われており、現代の生活や経済活動を24時間支え続けています。

しかし、どれほど優れた設備でも、経年劣化や環境要因によって故障やトラブルが発生することがあります。そうした際に迅速かつ確実な対応を求められるのが私たちの役割です。復旧が遅れば、暮らしや社会活動に深刻な影響を及ぼす恐れがあります。

私たちの仕事は決して目立つものではありませんが、社会の安全と安心を陰で支える「縁の下の力持ち」として、誇りを持つべき仕事です。今後も健康に留意しつつ、技術と経験を活かして日々の業務に取り組み、社会に貢献していきましょう。

夏季インターンシップ 開催

『電気制御コース』 2名の学生が課題にチャレンジした5日間！

去る8月18日～22日の5日間で開催した夏季インターンシップに、北見工業大学および北海道科学大学からそれぞれ1名ずつ、計2名の学生が参加しました。

本インターンシップは、電気・機械・情報系を中心とする学生に対し電力インフラ分野の業務を実際に体験できる機会を提供することを目的としており、実務性の高いプログラムとして毎年実施しております。インターンシップでは、発電所や変電所に納める装置の設計図面の読み方・書き方からPLCプログラム作成・装置組立・確認試験まで、幅広く体験いただきました。2名ともPLCプログラム作成は初めての事で、かなり苦労していたようですが、無事5日間の課題をクリアしたようです。



先輩社員との交流の場も設けられ、仕事内容や働き甲斐、仕事を通じて得られる成長など、リアルな声を聞く貴重な機会になったと思います。

参加学生からは、「実際の作業に関わることで、電力の安定供給という重みを実感出来た」「技術職の具体的な仕事のイメージがつかめ、自分の将来について深く考えるきっかけとなった」といった前向きな感想が寄せられました。

座学での学びを、実際の現場でどう生かすかを体感できた5日間は、学生にとって非常に有意義な時間となったと思われます。

2026年1月下旬には冬季1dayインターンシップの開催も予定しております。

内容は業務説明、工場見学、若手社員との座談会などを中心に、短時間ながら業界理解を深める構成が企画されており、今後詳細を発表する予定です。

また、発変電工事技術研究会（電工研）にて制作したリクルート用リーフレットにて、電力業界に携わる電気工事会社の紹介を行いました。電力業界への興味喚起と就職活動における選択肢の拡大につながり、学生達の業界理解の深化への一助となれば幸いです。

一人でも多くの学生が、この業界に入って活躍してくれる事を期待しております。



Topics/10月1日~3日

WGの取り組み&本州出張レポート（その2）

若手・中堅社員数名で構成されたワーキンググループ(通称 WG)にて、昨年の道外視察(名古屋・横浜)に続き、弊社が抱える「人手不足」に伴う業務効率化のヒントを得ることを主題とし、企業視察と展示会参加の2本立てで大阪へ行ってきました。

まず企業視察は大阪の「明都パネル」さんへ。当社と同じ製造業を営む企業ですが、20 名程度の規模でありながら高い生産能力を有しており、人手不足対策のヒントが得られるのではと思い訪問しました。アイデアマンの工場長が提唱する自動化・省力化の取り組みにより最大限のパフォーマンスを発揮する姿を目の当たりにし、強く感銘を受けるとともに多くのヒントを得ることができました。

展示会はインテックス大阪で開催され、DX 関連の技術やノウハウを全国の新鋭企業が所狭しと紹介しておりました。今回の道外視察にて得た知見を基に、当社における業務効率化を推進できるよう WG メンバー一同、今後の活動に一層力を入れていく所存です。



万博にも行ってきました

「電気機器組立て技能士 配電盤・制御盤組立て作業 2 級」

パート社員 3 名が初合格！

このたび、当社のパート社員 3 名が、技能検定「電気機器組立て技能士 配電盤・制御盤組立て作業 2 級」を受験し、見事全員が合格いたしました。パート社員による同検定の受験および合格は、当社として初めての快挙となります。

この検定は、非常に高度かつ実践的な作業が求められるもので、実技試験と学科試験の両方が課され、知識と技術の両面での習得が必要です。受験にあたっては、社内講習を通じて、普段の業務では経験しない加工や機器の取付け作業に重点的に取り組み、配線までの一連の作業を実践しました。さらに、約1ヶ月にわたり、業務終了後や休日を活用して自主練習を重ねるなど、熟意と努力をもって挑戦を続けてきました。

今回合格したのは、入社4年目の1名と、入社2年目の2名の計3名です。また、社員の中からも、1級1名、2級2名の合格者が出ており、社内全体として技能の底上げが着実に進んでいることを実感しています。今後も、社員・パートを問わず、一人ひとりの成長を支援し、ものづくりの現場を支える技術力の向上に努めてまいります。



ESC の森 Information



「ESCの森」とは…

地球温暖化防止や水源のかん養等を目的に、長沼町(「馬追の名水」付近)にある森林の一部を育て、整備しています。動植物の観察やネイチャースキーも楽しめますので、是非お立ち寄りください★



↑場所はこちら↑

新入社員紹介

9 月から営業部に新しい仲間が加わりました

9月に入社し、営業部でお世話になります、長勢 和也と申します。
入社して早1か月が経過し、新しい経験の連続で良い刺激を受け充実した日々を過ごしております。

さて、ここからは私の経歴を簡単ではございますが紹介いたします。私は生まれ・育ちともに旭川市であり、2015年に北海道旭川工業高等専門学校電気情報工学科を卒業しました。高専入学前は、野球部に所属し小学校で全道大会、中学校では全国大会に出場しました。ポジションは三塁手でしたが、強烈な打球が飛んできた時は恐怖のあまり、思わず目を瞑りながら捕球していた記憶があります。一方、高専入学後は部活には所属をしていませんでしたが、先輩に誘われて草野球のナイター試合に顔を出しながら趣味で野球を続けておりました。

旭川高専を卒業後、道外の電力会社へ入社し、配電部門に所属して約10年間、電力の安定供給に務めてまいりました。

配電という部門は、地域住民の皆様にも最も近い部署であります。住宅で電気を使用するための引込線、電気料金を算定するための計量器、街中の電柱や柱上機器類、ひいては変電所バンク二次遮断器までを保守しています。私が担当していた主な業務は、「系統保守」「設備計画」の分野になります。

「系統保守」では、変電所から配電線の末端まですべての配電線網を管理しており、倒木や機器不良、台風や雷等といった要因で停電が発生した際に「公衆保安の確保」「早期復旧」のために指令塔として現場作業員と連絡し、復旧作業に従事します。休日・夜間を問わずに対応が必要ですが、「配電魂」を持って所員一丸となって乗り越えた後、お客様から感謝をされた時にやりがいを感じました。「設備計画」では、既存の配電系統における増強工事の計画立案や、新規に高圧系統へ連系する再エネ契約の連系検討・連系協議を実施していました。近年は、コストダウンや全体最適といった考えに基づき、変電所バンクの減設を検討することもありましたが、増加傾向にある系統用蓄電池の申込に耐えうる長期的な設備形成に頭を悩ませました。

最後になりますが、社会人 10 年という節目を迎え、新しいことに挑戦したいと思い、地元である北海道へ戻り今まで培ってきた経験を活かしたいと考えていたところ、縁あって当社へ入社いたしました。今までの配電業務で培った知識・経験を活かして営業活動を行い、お客様のニーズに答えられるよう精進してまいります。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ／E S C情報について

これまで、年4回発行しておりましたESC情報ですが、来年度より年2回(新春号、夏季号)の発行とさせていただきます。

今後は、SNS等を通じて、よりタイムリーに最新の情報をお届けしてまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

編 集 後 記

夏の暑さも去り、北海道では紅葉も終盤、冬支度も本格化してきました。さて、今年は4月と9月に営業部に新メンバーが加わり、組織も活気づいています。新体制の下、皆様のご期待に応えられるよう、より一層精進してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

営業部 編集担当